

横浜市とあいおいニッセイ同和損害保険株式会社が 次世代自動車普及促進等に向けた連携協定を締結しました

横浜市は、テレマティクス※を活用した次世代自動車普及促進等に向けた検討に取り組むことを目的に、あいおいニッセイ同和損害保険株式会社(以下、「あいおいニッセイ同和損保」という。)と連携協定を締結しました。

※テレマティクスとは電気通信(Telecommunication)と情報工学(Informatics)を組み合わせた造語。
自動車などに通信システムを搭載し、情報サービスを提供すること。



1 経緯

横浜市は、2050年年の脱炭素化の実現に向けて、電気自動車等の次世代自動車普及促進に取り組んでいます。次世代自動車普及促進のためには、日常的な充電手段として快適に利用できる充電インフラの整備が重要であり、持続可能で利便性の高いインフラ整備に向けて、充電インフラの最適配置の検討が必要です。

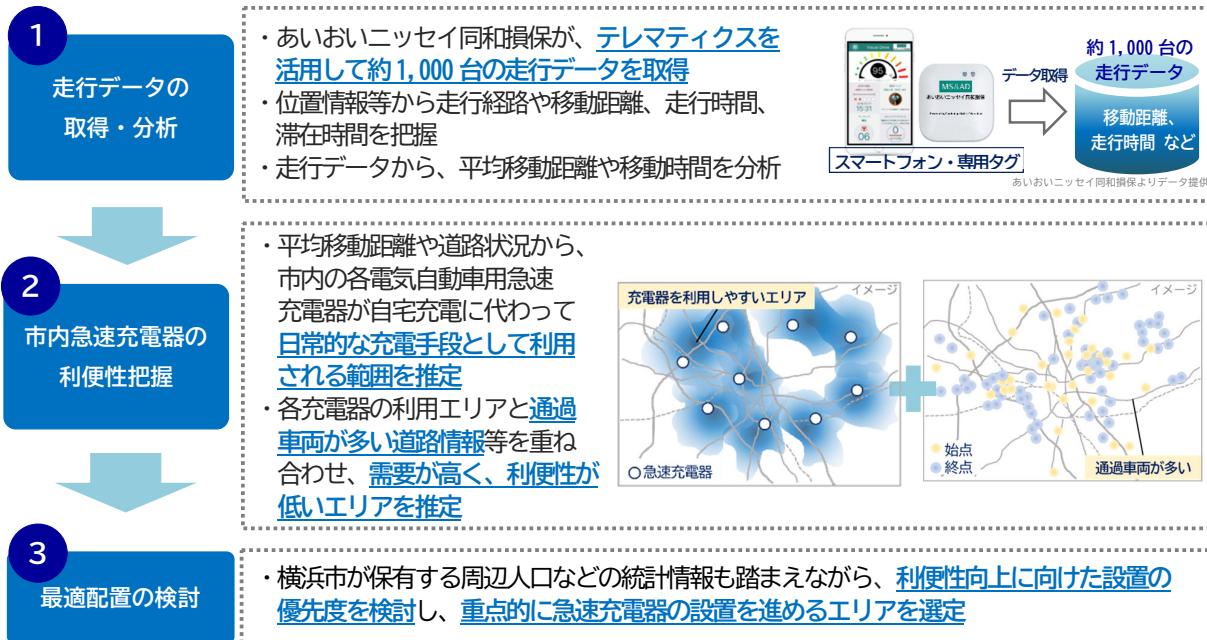
このたび、フリー型共創フロント※を通じて、あいおいニッセイ同和損保からテレマティクスを活用した電気自動車用急速充電器の最適設置検討に関する提案をいただき、連携協定を締結することとなりました。

※ 行政と民間が互いに対話を進め、新たな事業機会の創出と社会的課題の解決に取り組むために、横浜市が設置した相談・提案受付窓口

2 主な取組

▶ 急速充電器の需要の予測及び評価について

あいおいニッセイ同和損保がテレマティクス技術により収集した1,000台規模の走行データなどを分析し、充電インフラの最適配置シミュレーションを行います。



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



【参考】

▶ あいおいニッセイ同和損保のご紹介

あいおいニッセイ同和損保は、“まだ誰も知らない安心を、ともに。”をキャッチコピーに掲げ、データやデジタル技術の活用を通じて社会課題を解決する保険商品・サービスを提供しています。これらすべての取組は、「CSV×DX」※のコンセプトのもとで開発・提供されており、事故のあの補償にとどまらず、「事故を起こさない保険」、そして「地域社会の未来を変える保険」への進化を目指しています。

※ CSV(Creating Shared Value:共通価値の創造)と DX(Digital Transformation)を融合した取組。

「地域社会の未来を変える自動車保険」へ

テレマティクス自動車保険を「地域社会の未来を変える自動車保険」へとステージを押し上げ、本質的な価値を訴求することで、普及・拡大・体感率向上を図り、ゲームチェンジを実現します。



あいおいニッセイ同和損保より画像提供

▶ あいおいニッセイ同和損保との【過去の取組】

横浜市はあいおいニッセイ同和損保と令和4年度から令和6年度にかけて市民一人ひとりが脱炭素ライフスタイルの取組を進められるよう、「循環経済等に資する魅力的な脱炭素ライフスタイル創出・浸透事業」を実施しました。

「循環経済等に資する魅力的な脱炭素ライフスタイル創出・浸透事業」の詳細については、横浜市ホームページをご覧ください。

(「循環経済等に資する魅力的な脱炭素ライフスタイル創出・浸透事業」)

https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/machizukuri-kankyo/ondanka/etc/lifestyle_all.html



お問合せ先

【連携協定に関することについて】

脱炭素・GREEN×EXPO推進局脱炭素マネジメント課長 大屋 正信 Tel 045-671-2683

【テレマティクスに関することについて】

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社横浜支店横浜第三支社長 朝隈 善彦 Tel 050-3461-1029



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷

